

製品名: CD45 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85077**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 145 kDa; Observed MW: 145 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD45
別名	GP180; L CA; CD45 antigen
遺伝子 ID	19264.0
SwissProt ID	P08575
免疫原	CD45 の合成ペプチド

背景

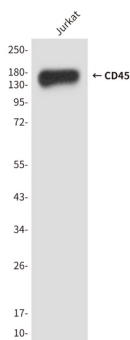
抗原受容体を介した T 細胞の活性化に必要なタンパク質チロシン-タンパク質ホスファターゼ。DPP4 に結合すると、T 細胞の共活性

化の正の調節因子として作用する。最初の PTPase ドメインは酵素活性を持ち、2 番目の PTPase ドメインは最初の PTPase ドメインの基質特異性に影響を与えらる。T 細胞が活性化されると、SKAP1 と FYN をリクルートし、脱リン酸化を行う。LYN を脱リン酸化することで、LYN の活性を調節する。

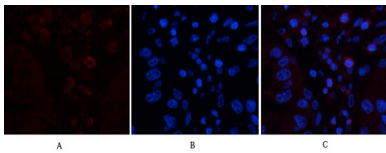
研究分野

-

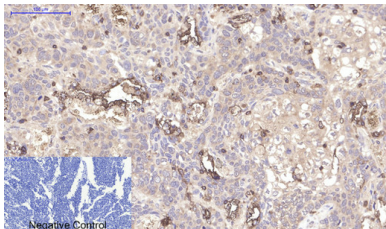
画像データ



CD45 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の CD45 のウエスタン ブロット分析。



CD45 抗体 (赤) と DAPI (青) を使用したヒト肝臓癌組織中の CD45 の免疫蛍光分析。



CD45 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。